

臨床研究「角膜移植後の治療成績の検討」へのご協力をお願い

角膜移植手術を受けた方へ

1. 研究の意義と目的

角膜移植の手術法には、世界中で半世紀以上にわたって行われてきた「全層角膜移植」をはじめ、近年導入され始めた「表層角膜移植」「深層層状角膜移植」「角膜内皮移植」といった主な病変部のみを取り替える方法があり、患者さんの病状に応じてもっとも適切と思われる方法で手術を行います。難治性の角膜上皮疾患の患者さんに対しては、「輪部移植」や再生医療技術を用いた「培養上皮移植」が行われることもあります。

これらの手術は、いずれも患者さんの視機能改善を目指して行われるものですが、「全層角膜移植」以外は比較的新しい手術法であるため長期の治療成績について詳しいことがわかっていません。

そこでこの研究において、各種の角膜移植手術を受けた患者さんの治療成績を検討し、各手術法の長期成績や利点、問題点などを明らかにしたいと考えています。

2. 研究の方法

日常診療において眼科で行っている以下の診察/検査項目についてデータを収集するとともに、手術の詳細を調査して角膜移植術後の問題点を分析します。

診察/検査項目

原因疾患(病名)、年齢、術式、視力検査、眼圧検査、他覚（屈折）検査、眼圧、視野検査、角膜内皮細胞密度、角膜形状解析、角膜厚、前眼部写真、眼底写真、超音波検査、前眼部・後眼部光干渉断層計

調査項目

角膜移植を必要とした原因疾患の内訳、年齢分布、各々の角膜移植手術件数、手術方法、麻酔方法、術中合併症、術後合併症、薬物療法、術後経過

3. 個人情報の取り扱いについて

本研究に関するデータの収集・管理は院内の電子カルテ上で行い、ファイルには研究に直接関与する者のみが閲覧できるパスワードを設定します。当該データを電子カルテの外に持ち出す必要が生じた場合には、ネットワークから切り離されたコンピューターを使用して、外部記憶媒体（USB など）に記録し、鍵をかけて厳重に保管することで個人情報の保護を図ります。研究成果を学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人を特定できないようにする等、個人情報の保護に十分配慮致します。

この研究に参加されたくない方やご質問等のある方は、下記までお問い合わせ下さい。研究への参加を希望されない場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

お問い合わせ・連絡先

大阪大学医学系研究科眼科学（大阪大学医学部附属病院 眼科）

氏名：三田村勇人

TEL：06-6879-3456（眼科医局）